

## 議 事 録

会議の名称	令和5年度第1回壱岐市自治基本条例審議会
開催日時	令和5年7月20日(木) 19:00から20:20まで
開催場所	壱岐島開発総合センター 大集会室
出席者	委員26名(4名欠席)、事務局5名
会議の次第	1 開 会 2 委 嘱 状 交 付 3 挨 拶 壱岐市長 白川 博一 4 会長・副会長選任 5 諮 問 6 講 演 「市民参画・協働と自治基本条例の必要性」 -長崎大学経済学部准教授 山口 純哉 先生 7 議 事 (1) 検証方法等について (2) 今後のスケジュールについて (3) その他 8 閉 会

### 内 容

#### 1 開会

委員の紹介

#### 2 委嘱状交付

市長から委員代表の長岡委員に委嘱状を交付

#### 3 挨拶

白川市長から挨拶

#### 4 会長・副会長選任

会 長：山口 純哉 委員

副会長：長岡 信一 委員

#### 5 諮問

白川市長から山口会長へ諮問書を手渡し

#### 6 講演

「市民参画・協働と自治基本条例の必要性」と題して、長崎大学経済学部准教授 山口 純哉 先生より講演【講演資料】

< 質疑応答 >

委員A：色々な地域のコミュニティを見ている中で、他地域とで比較した場合、何かしら強みや弱みなど壱岐市の特徴は何かあるのか。

山口先生：壱岐にずっといるわけではないので、分からない部分もあるが、長崎県の離島という意味でいうと、良くも悪くも地域のコミュニティが「密」であるというのは特徴だと思う。それが例えば移住者の皆さんにとってすごく色々なフォローをしてくれてありがたいというところもあれば、それが煩わしいというような移住者の方も当然中にはいる。例えば長崎市や佐世保市と比べると「密」で、歴史があるということで、そこは決定的な違いがある。そのため、ある意味すごく団結できるというところもあれば、ある意味外から入ってきた人との付き合い方っていうところは、何らかの基準を定めてやっていく必要なんかもあるのではないかなと思う。これは、私がここにいるわけではないので、あくまで外から見ている感触である。

## 7 議事

(1) 検証方法等について

事務局：～【資料1】に沿って説明～

(2) 今後のスケジュールについて

事務局：～【資料2】に沿って説明～

< 質疑応答 >

委員B：今の条例に基づいて現在のまちづくり協議会が活動していると考えて間違いないか。

事務局：お尋ねのとおり、壱岐市自治基本条例第25条に基づき、まちづくり協議会を推進している。

委員B：そういう意味では、この条例は、大変いい条例で、まちづくり協議会が設立され、このまちづくり協議会のおかげで、私達は自分達のまちのこと色々考える。高齢化社会で、老人が多くなるなか、どのようにしたら、皆が交流できるのか。あるいは、今は、もう公共の色々なものが40年くらい前に作られて、活動できないように荒れ果ててしまい、自分達がこれらを直して利用できるようにしようじゃないかということで、今、私達は市の担当課と相談しながら、取り組んでいる。50メートル四方の広場があるのだが、半分は使えない状況。そこを皆が集まることができるような場所にするよう自分達で出来るところは自分達でやるということで、かかった費用は1万6,000円。砂代だけ。あとは自分達で草を取って埋めてやっている。見積もりを取ったら120万円くらいかかるということだった。そういう活動で何人かの協力者がどんどん出てくるようになり、自分達で、市と市の担当者と相談しながら、今やっているが、そういうことができるようになったのは、このまちづくり協議会ができたからだと思っている。条例の見直しの中で、具体的にこういうようなことが実施できたらいいなとか、色々な私達の行動に基づいて、反省やら要望やらもあるので、そういう話し合いをここで、条例の中できちんとそうした中身にできたらいいなというように思っている。

会 長：素晴らしいご意見をいただき感謝する。まさしくこの条例を使って色々とやってみた時に、ここはうまくいったよとか、こういうところはちょっと直してとか、こういうようなものが入っていた方が、もっとお互い、例えば今の話で言うと、市との連携がうまくいくのではないかと、まさしくそういうご意見をここでたくさん出していただき、見直しに繋げていくという非常にいいご意見だと思う。

委員C：今回の審議会では、資料等を当日見たが、2回目以降もこのような形で進めていくのか。

事務局：今回は事前にお送りすることができなかったが、次回以降は審議の内容を深めていただくためにも、事前に資料や実際に議論する内容等についてはお知らせするようにしたい。

会 長：非常に大事なことだと思う。次回以降資料もボリュームを増してくると思うので、必ず事前に資料等を送っていただくという形で私からもお願いをしたい。

委員D：専門部会の選任の仕方について、どのような形で、日程も含めて、いつ頃開催されるのか。この審議会のメンバーが全員専門部会に入るのか、案があったら教えてほしい。

事務局：専門部会については、この審議会での、検証の進め方について、ご了承いただけたかと思うので、早速、専門部会の、メンバー構成等々について調整を進めていきたいと思っている。まず、市役所の関係各課の幹部職員に聞き取りをした上で、関係団体の皆様方にもお声掛けをさせていただくような形で考えている。審議会のメンバーの皆様についても会長、副会長と相談をしながら、専門部会に入ってもらうことも、検討している。また改めて、その際はご相談をさせていただきたい。

会 長：近いうちに皆さん個別に事務局から連絡がいくかもしれないとのことによろしくお願ひしたい。

## 8 閉会

会 長：この会議は、先程ご意見いただいたとおり、市民がいかに参画するかという非常に大事な会議である。もちろん、この会議の場でご意見いただければと思うが、もし、思いついたことなどがある場合は、事務局の方に、ぜひ、声をお寄せいただければと思う。この会議の運営、議論そのものが「参画と協働」という話になるかと思うので、ぜひ、忌憚のないご意見を引き続きいただければと思う。それでは、以上で、本日の会議を終了する。今後ともどうぞよろしくお願ひしたい。